

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	17S3064	院生氏名	山下 淳一
通学キャンパス	小田原キャンパス		
論文題目	eラーニングを用いた新任主任理学療法士の管理業務教育支援に関する提案		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 本論文は、科長職と一般職員の橋渡し役である主任職に着目し、役割移行時の困難感を軽減する目的で実態調査を行い、遠隔地における農山村地区の病院・施設の職員間の連携を視野に入れた eラーニングを用いた人材育成システムを提案したことである。本研究は、当大学倫理審査委員会及び所属病院の倫理問題検討委員会の承認を得て実施している。</p> <p>研究1では、病院の理学療法部門の一般職から主任への役割移行時に生じる課題について現状調査を行い、65名から得られた情報をもとに、就任初期の主任に対する管理運営の学習コンテンツを構築するための基礎資料としている。アンケート調査によると、主任業務のノウハウは自らOJTで上司や先輩から学んでいる者が最も多く、現状の主任業務に充実感を得ていない者が半数以上を占め、学修方法は、外部での管理職研修や通信教育などOff-JTやeラーニングでのプログラムを望んでいたと報告している。充実感に関する要因について重回帰分析を行った結果、「管理業務の成果の明確性」「上司とのコミュニケーション」が強く関与していることを示唆している。また、自由記載をもとに主任職に必要と感じる能力についてクラスター分析を行った結果、「人材育成」「他部門との連携や調整」「問題解決力」「担当病棟の管理」「判断力、観察力などの能力」「部下へのコミュニケーション能力」の6つのクラスターを導き出している。</p> <p>研究2では、研究1から得られた就任初期の主任の現状課題に関するeラーニングによる動画及びチャット教材を就任初期の主任32名に提供し、人材教育システムの取り組みを実施している。研究3では、研究2で提示した対策案に対して、継続研究の回答が得られた就任初期の主任14名(回収率43.8%)から得た活用可能性のパブリックコメントについて検討を行っている。回収率は低いものの、eラーニングシステムに関しては高い満足度を得ていた。システム運用期間を確保する必要はあるが、満足度の分析から「チャットの使いやすさ」「チャットの参加者」「チャットの項目」などの改良を通して、今後の現実的な運用に繋げていくことが可能と考える。</p> <p>本研究の新規性は、病院の理学療法部門における一般職から主任への役割移行時に生じる課題を分析し、その課題解決のためのeラーニングによる人材育成システムの本格運用に向けた課題を整理し、管理・運営に特化した教育システムの活用可能性を示唆したことである。</p> <p>2. 審査会の実施前に各審査員から確認及び修正事項についてコメントし、審査会での報告に反映を促した。審査会は1回開催し、指摘した点について修正を求めたところ、概ね適正に修正された。</p> <p>3. 審査会の口頭試問においては適切に応答した。</p> <p>4. 以上の結果を踏まえ、審査会の審査員全員で協議した結果、本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主 査	森田 正治	
	副 査	後藤 純信	
	副 査	河野 眞	